

微生物を使った豚のにおい対策資材 「201」（におわん）



福岡県工業技術センター 生物食品研究所

目的

- 畜産業では、低級脂肪酸等の悪臭が発生し、苦情の6割を占め、問題となっています。
- 畜産分野で利用可能な低級脂肪酸分解菌を探索し、微生物を利用した脱臭資材の開発を行いました。

概要

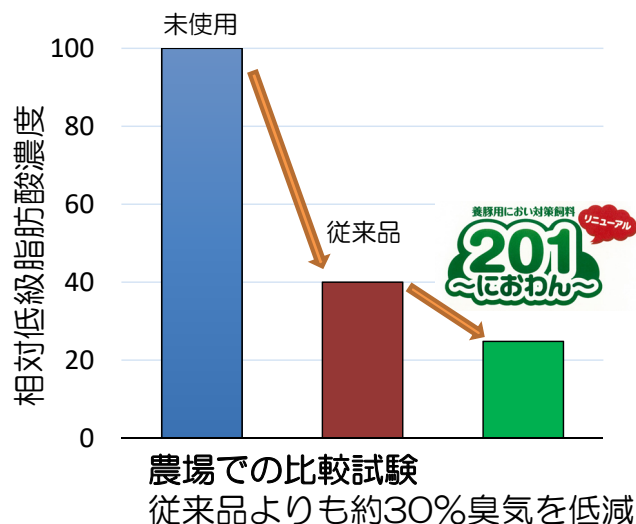
- 生物食品研究所と(株)九州メディカルの保有するバチルス属ライブラリーから分解菌を選抜。
- 農林業総合試験場にて試験豚房での臭気低減試験と子豚に過剰給与した安全性試験を実施。
- JA全農が混合飼料を試作し、先行供給農場で従来脱臭用飼料との比較試験を実施。

成果

- JA全農の脱臭用飼料「201（におわん）」に配合され、販売されています。



養豚用におい対策飼料
201（におわん）



【お問い合わせ先】

■研究に関すること

日下 芳友（クサカ ヨシトモ）

福岡県工業技術センター

生物食品研究所 生物資源課

電話：0942-30-6644

E-mail：y-kusaka@fitc.pref.fukuoka.jp

■商品に関すること

【微生物について】

(株)九州メディカル バイオ本部

電話番号：0942-36-6088

【飼料について】

ジェイエイ北九州くみあい飼料(株)

電話番号：092-738-0100

